

伊奈学園総合高等学校同窓会

定期総会

日時：2014年9月7日（日）13:00～

場所：伊奈学園総合高等学校 外国語棟3F（第5学習室）

式次第

○開会挨拶

○議案審議

- ・ 議案第1号 2013年度事業報告
- ・ 議案第2号 伊奈学園創立30周年記念事業報告
- ・ 議案第3号 2013年度決算報告（案）
- ・ 議案第4号 2013年度監査報告（案）
- ・ 議案第5号 2014年度事業計画（案）
- ・ 議案第6号 伊奈学園同窓会30周年記念事業について
- ・ 議案第7号 2014年度予算計画（案）
- ・ 議案第8号 2015年度事業計画（案）
- ・ 議案第9号 2015年度予算計画（案）

○人事案

- ・ 2014年度役員人事（案）
- ・ 2015年度役員人事（案）
- ・ 理事名簿（2014年6月29日現在）

○閉会挨拶

議案第 1 号 2013 年度事業報告

1 一般活動報告

- 2013 年 6 月 29 日（日） 10:00～12:00 第 1 回四役会
- 2013 年 7 月 7 日（日） 10:00～12:00 第 1 回理事会
- 2013 年 9 月 8 日（日） 13:00～16:00 定期総会
- 2014 年 2 月 9 日（日） 10:00～12:00 第 2 回四役会
- 2014 年 3 月 9 日（日） 10:00～12:00 第 2 回理事会
- 2014 年 3 月 11 日（火） 15:30～16:00 第 28 期卒業生 同窓会入会式

2 委員会活動報告

2.1 会報誌編集委員会

2013 年 8 月に inajin35 号を発行した。

2012 年度より発行回数を年 1 回（夏）、配付対象を全正会員としたが、これは、伊奈学園創立 30 周年の告知を全正会員に行いたいことから、告知の手段として会報誌を利用することが適切であると判断したため、配付対象を全正会員に改めた。

これに伴い、卒業後 11 年目以上で継続送付会費を納めた正会員に対して、支払った継続送付会費の全額返金を希望するか、もしくは同窓会にご寄付いただきたい旨を Inajin に掲載したところ、2014 年 2 月現在で 3 名（inajin35 号発行以前を含め、2013 会計年度で 4 名）の返金希望があり、対象者に全額を返金した。なお、寄付の申し出については、2013 年度は現在までの所寄せられていない。

2.2 会員名簿維持管理委員会

2013 年 3 月に卒業し、同窓会の正会員となった第 27 期生 797 名を会員名簿に追加した。

2014 年 3 月末現在の正会員数および 2013 年度の会員名簿の更新状況は別紙 1 のとおり。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

2013 年度のウェブサイト更新実績は、別紙 2 のとおり。その他、ウェブサイト構成の再検証を行った。

今後、多くの同窓会関係者に幅広い更新を行ってもらうことを前提に、ウェブサイトの更新を専門的知識が無くても可能かどうか、各構成を再検証した。現時点で「Movable Type（以下 MT）」という CMS（コンテンツマネジメントシステム）を使いウェブサイトを作成してみたが、結論としては、MT の内部の構成により、コンテンツの所在が専門家でも判断しづらい上、結局専門的知識がないと構成できないことが判った。また、MT 自体がマイナーなシステムであり、さらなるウェブサイトの向上には不相応であることから、これを踏まえて、次年度以降にシステムの改新に向けての検討することとした。

2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

複数年代にまたがる卒業生同士の交流を目的として、第 16 期～第 18 期の卒業生を対象としたホームカミングパーティを 2013 年 10 月 26 日（土）に開催を計画したが、台風 27

号接近による外出の危険性や、参加申込が5名と元々少なかったことに加えて前日までに2名がキャンセルしたため、参加者が3名になることから開催を見送り、その後2014年3月9日（日）に開催された「いなじん交流会」に合流し同時開催という形をとった。

3期合同での実施は2013年度で終了し、今後は委員会内に「未来へのハガキ事業」を設置して今後の活動計画を見直すこととする。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

2013年11月12日（火）15時から伊奈学園にて希望者を対象として、卒業生による講演会を開催した。開催状況は別紙3のとおり。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトにて講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集した。

2.6 年次活動推進委員会

2013年度の年次理事補助金制度の利用は、1件（24期生同窓会）だった。

事業計画では「廃止も視野に入れた見直しを検討する」としていたが、利用者があるため廃止の検討は行わないこととした。制度があまり活用されていない現状であるが、その背景に告知の不足が考えられるので、今後ウェブサイト、会報誌 Inajin、理事メーリングリスト等を活用し周知をしていく。

また理事に4名の候補者が出ている。理事のいない年次もあることから引き続き充足に力を入れていく。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、2013年8月4日（日）に第4回および2014年3月9日（土）に第5回の「いなじんたまり Bar」を開催した。開催状況は別紙4のとおり。

2.8 会則改正検討委員会

2013年9月8日（日）の定規総会において会則および細則の改正案が承認された。今後、必要に応じて検討を行う。

議案第2号 伊奈学園創立30周年記念事業報告

2013年10月12日（土）13:00より大宮ソニックシティ大小ホール、および市民ホールにて伊奈学園創立30周年記念事業として記念式典・記念講演・祝賀会が滞りなく執り行われた。開催状況は別紙5のとおり。

なお、記念品や図書館改築費・記念誌の印刷等で入札を行なった結果、150万円程度の剰余金が生じた。剰余金は後援会と同窓会の出資比率に応じて返納され、振込手数料を除く570,850円が同窓会に返金された。

議案第3号 2013年度決算報告（案）

別紙6参照

議案第 4 号 2013 年度監査報告（案）

別紙 7 参照

議案第 5 号 2014 年度事業計画（案）

1 一般活動計画

2014 年 6 月 8 日（土）13:00～17:00 第 1 回四役会
2014 年 7 月 6 日（日）13:00～17:00 第 1 回理事会
2014 年 9 月 8 日（日）13:00～16:00 定期総会
2015 年 1 月 18 日（日）13:00～17:00 第 2 回四役会
2015 年 3 月 15 日（日）13:00～17:00 第 2 回理事会
2015 年 3 月 第 29 期卒業生 同窓会入会式

2 委員会活動計画

2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOG の活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

伊奈学園創立 30 周年を機に、2012 年度より発行回数を年 1 回（夏）、配付対象を全正会員としたが、2014 年度以降も引き続き年 1 回発行し、全正会員に送付することとしたい（発行回数については、同窓会という性格上、会報誌の制作に大幅な作業ロードをかけられないことや後記に挙げた名簿の更新等の効果を考えると、Web に掲載するだけや学園祭で配布するといった手段ではなく、正会員全員宛に送付することが望ましい。そのための送料は極力抑えるために、年 1 回としたい。）。

配布対象については、卒業後 11 年目以降の正会員にも定期的に会報誌が届くことによって、同窓会活動に興味を持ってもらいたいこと、また、住所変更等の現状を正会員から積極的に連絡する注意喚起となること等から、全正会員とすることが望ましい。現に、卒業後 10 年間に限定していた頃に比べて 2012 年度以降、名簿の更新依頼が増えていることから一定の効果が認められる。

但し、年間に約 800 人正会員が増加する（単純な卒業生の増加を指す。実体的な届け先不明等の会員減少は含んでいない。）ことから、送付については年度ごとに検討を続ける必要があると考える。毎年の予算を圧迫し、同窓会内の預金の利用が必要な事態になる場合は、全員送付は困難になるものと考えられるので、数年の間に名簿維持管理委員会及びウェブサイト維持管理委員会と協議の上、送付に代わる全員配布方法も模索したい。海外に送付する要望について、現在是对応をしているが、送料を考えると今後の増加を加味して、規定をつくる必要性が出てくるものと思料する。

また、諸事情により会報誌の送付を望まない正会員が過去にいたことに配慮し、Inajin36 号からは、送付中止の要望も受け付ける旨、記事として掲載する予定。

なお、今後、ページ数を増やして広告スペースを増やし、寄付の単価を下げた広告収入を増やす等、会報誌としてある程度採算が取れるように検討する。

2.2 会員名簿維持管理委員会

2014年3月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる28期生789名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。その他、以下の取り組みを行う。

2.3.1 ウェブサイトを構成するシステムの改新

ウェブサイトが、各役員が更新できるようなシステムで構築できるよう検討。近年スマートフォンやタブレット等からウェブサイトを見る人が増えたことも含め、それらにも対応したデザインで、誰もが気軽に訪れることができるウェブサイト作りを目指す。

2.3.2 サーバ及びドメインの移行^{別紙8}参照

現在、ウェブサイトなどを管理しているサーバは、最近のコストパフォーマンスに優れたサーバと比べるとコストが高く、さらにドメインもサーバの会社名が入っており、サーバ攻撃を受けやすい状態であり、セキュリティ上好ましくない。よって、コストパフォーマンスに優れたサーバへの移行と、「inagaku-dousou.net」のような独自ドメインの取得を検討する。

2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

第20期から「未来へのハガキ」を配付しているため、今後、「未来へのハガキ事業」による活動を計画する。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をしていただき後輩たちの進路に役立ててもらうことを目的として、PTA および後援会の協力のもとに講演会を実施する。開催日は2014年11月11日（火）を予定。^{別紙9}参照

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイト講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。

2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。

2011年以降に卒業した理事に、理事会の告知がされていなかったことから、メーリングリストへの理事の登録を確実にを行うとともに、メーリングリストを活用して理事会への参加を促すこととする。^{別紙10}参照

年次理事補助金制度が活用されていないことから、他の事業との連携も含めた見直しを検討する。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を開催する。

委員会のメンバーを増強し、演奏会などの企画を交えた新しいスタイルで参加者を増やす努力をする。

開催日は2013年8月および2013年11月を予定。

2.8 会則改正検討委員会

交通費支給規定について検討を行い、**別紙 11**のとおり本総会で提案を行う。

議案第6号 伊奈学園同窓会創立30周年記念事業について

別紙 12参照

議案第7号 2014年度予算計画（案）

2013年9月8日（日）の総会で承認された予算計画を、下記のとおり見直す。修正後の予算計画は**別紙 13**のとおり。

- ・会報誌広告料収入について、1件あたりの広告料を引き下げたことから収入を見直した。
- ・会報誌継続購読料繰入収入について、2013年度決算を踏まえ、特別会計の残額に修正した。
- ・名簿維持管理費について、名簿管理を委託しないこととしたため、支出を見直した。
- ・会報誌継続購読返金（過年度分）について、2013年度決算を踏まえ、特別会計の残額から返金に充当する分に修正した。
- ・会報誌継続購読返金振込手数料について、2013年度決算を踏まえ、特別会計の残額から振込手数料に充当する分に修正した。
- ・前期繰越収支差額の修正を受け、予備費に差額を計上した。
- ・2013年度決算を踏まえ、前期繰越収支差額を修正した。
- ・2015年度予算を踏まえ、次期繰越収支差額を修正した。

修正前		修正後	
I 収入の部		I 収入の部	
会報誌広告料収入	150,000	2. 会報誌広告料収入	70,000
会報誌継続購読料繰入収入	547,950	4. 会報誌継続購読料繰入収入	523,005
II 支出の部		II 支出の部	
1. 運営費		1. 運営費	
名簿維持管理費	10,000	名簿維持管理費	0
2. 事業費		2. 運営費	
会報誌継続購読返金（過年度分）	534,000	会報誌継続購読返金（過年度分）	513,005
会報誌継続購読返金振込手数料	13,950	会報誌継続購読返金振込手数料	10,000
3. 予備費		3. 予備費	
	0		2,839,295
前期繰越収支差額	671,000	前期繰越収支差額	4,500,295
次期繰越収支差額	0	次期繰越収支差額	920,000

議案第 8 号 2015 年度事業計画（案）

1 一般活動計画

- 2015 年 6 月 第 1 回四役会
- 2015 年 7 月 第 1 回理事会
- 2015 年 9 月 定期総会
- 2016 年 2 月 第 2 回四役会
- 2016 年 3 月 第 2 回理事会
- 2016 年 3 月 第 30 期卒業生 同窓会入会式

2 委員会活動計画

2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOG の活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

2015 年度以降も引き続き年 1 回発行し、全正会員に配付することとしたい。

配布対象については、卒業後 11 年目以降の正会員にも定期的に会報誌が届くことによって、同窓会活動に興味を持ってもらいたいこと、また、住所変更等の現状を正会員から積極的に連絡する注意喚起となること等から、全正会員とすることが望ましい。現に、卒業後 10 年間に限定していた頃に比べて 2012 年度以降、名簿の更新依頼が増えていることから一定の効果が認められる。

発行回数については、同窓会という性格上、会報誌の制作に大幅な作業ロードをかけられないこと、また、前記に挙げた名簿の更新等の効果を考えると、Web に掲示するだけや学園祭で配布するといった手段ではなく、正会員全員宛に送付することが望ましいが、そのための送料は極力抑えたいこと等から、年 1 回としたい。

なお、今後、ページ数を増やして広告スペースを増やし、寄付の単価を下げて広告収入を増やす等、会報誌としてある程度採算が取れるように検討する。

2.2 会員名簿維持管理委員会

2015 年 3 月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる 29 期生約 800 名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。

2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

「未来へのハガキ事業」による活動を計画する。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をしていただき後輩たちの進路に役立ててもらうことを目的として、PTA および後援会の協力のもとに講演会を実施する。開催日は2015年11月を予定。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトにて講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。

2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を開催する。

委員会のメンバーを増強し、演奏会などの企画を交えた新しいスタイルで参加者を増やす努力をする。

開催は年2回（8月および11月）を予定。

議案第9号 2015年度予算計画（案）

別紙14参照

伊奈学園同窓会 2014 年度役員人事（案）

（★印は 2014 年度第 1 回四役会及び理事会で承認済み）

顧問

★足立 哲也（現学校長）・★金子 圭一（3 期）・★原 雅之（1 期）

会長

村松 猛（4 期）

副会長 兼 いなじん交流推進委員長

畠山 篤士（6 期）

副会長 兼 先輩と夢を語ろう実行委員長

石川 剛（8 期）

会計

船崎 多美子（2 期）

会員名簿維持管理委員長

浜野 絢也（10 期）

ウェブサイト維持管理委員長

加藤 歩（10 期）

会報誌編集委員長

早坂 拓紀（13 期）

会則改正検討委員長

城口 敦弘（4 期）

年次活動推進委員長

田中 健一（4 期）

ホームカミングパーティ実行委員長

箱田 卓也（7 期）

監事

後藤 昌弘（1 期）

監事

★ 欠員

伊奈学園同窓会 2015 年度役員人事（案）

（★印は 2014 年度第 1 回四役会及び理事会で承認済み）

顧問

★足立 哲也（現学校長）・★金子 圭一（3 期）・★原 雅之（1 期）

会長

村松 猛（4 期）

副会長 兼 いなじん交流推進委員長

畠山 篤士（6 期）

副会長 兼 先輩と夢を語ろう実行委員長

石川 剛（8 期）

会計

船崎 多美子（2 期）

会員名簿維持管理委員長

浜野 絢也（10 期）

ウェブサイト維持管理委員長

加藤 歩（10 期）

会報誌編集委員長

早坂 拓紀（13 期）

会則改正検討委員長

城口 敦弘（4 期）

年次活動推進委員長

田中 健一（4 期）

ホームカミングパーティ実行委員長

箱田 卓也（7 期）

監事

後藤 昌弘（1 期）

監事

★欠員

伊奈学園同窓会理事名簿						
	1	2	3	4	5	6
1期	倉田 健一	奥平 季之	青木 かおり	針谷 信二		
2期	大崎 哲司	渡辺 剛	中根 一幸	川窪 葉子		
3期	武井 洋人	氏家 健司	小室 雅成	駒井 香子		
4期	藤 裕之					
5期	岡部 忠亮	北野 真				
6期	菊池 孝一					
7期	乾 理	渡辺 敏光	大塚 一慶			
8期	菅原 文仁					
9期	岩崎 一彦	高橋 彰宏				
10期	矢部 雅志	野川 太樹				
11期	鹿野 智孔	新井 兼	佐藤 千恵美	越智 浩一		
12期						
13期	伊藤 靖剛					
14期						
15期	前島 沙織	眞藤 泰生				
16期						
17期	石川 佳央里					
18期	開 真紀					
19期	富田 香	鈴木 信博	小村方 健			
20期						
21期	奥山 宏美	野本 麻恵				
22期	坂井 望					
23期	山田 篤寛					
24期	山田 暢史	濱田 祐輔	八幡 佑里	藤間 朱美	濱野 拓也	森下 凌介
25期	菅原 美咲	佐野 楨哉	薄木 翔子			
26期	小谷野 愛巳	北澤 拓夢	二村 亜里沙			
27期	森 亮樹	郷田 光希	濱野 ひと美	齊藤 淳		
28期	関口 真史	中久保 まり子	梅村 勇斗			

オブザーバーはグレー文字で表記

※川窪さん、小村方さん、坂井さん、森下さんは2013年度第2回理事会にて承認済